

千エロの響きが  
心揺さぶる  
ロングラン作品

# 火よう日のちそうはひきがえる



原作  
ラッセル・E・エリクソン  
(評論社刊)  
脚色・演出 幸見彦  
音楽(千エロ) 田村賢一  
美術 清水正年・幸見彦

「その火よう日はわしのたんじょうびで、  
たんじょうびの特別なごちそうは、  
真冬に見つけたひきがえる、というわけだ」



## みんなの感想

- ◆ ウォートンとミミズクの会話にハラハラしたり笑ったり、目が離せない人形劇です。最後のシーンは何度みても心に染みます。
- ◆ どんな逆境でも諦めないウォートンの姿に、大人も勇気をもらいました。
- ◆ 家族や大切な人とゆっくりお茶をのんでお喋りしたくなりました。

## BGM 千エロ生演奏 ver. 2017年

※上演料は別設定。日程によってはご希望に添えないことがあります。詳しくは実務資料をご覧ください。

ウォートンは、どんな事も楽しいものにしてしまう様なエネルギー溢れるひきがえるです。自分を捕まえて食べると言うミミズクの部屋で、ウォートンは「せめて気持ちよく暮らしたい」と大好きな掃除をし、お茶を飲み、ミミズクに話しかけます。ウォートンと、ひとりて生きているミミズク。違う生き方をする二人の間に様々な想いが行き交います。彼らの中に生まれてくるものを、真冬の森の世界、土や風と一緒に感じてほしいと思います。